

【単元のポイント】

単位量あたりの大きさ

5 年生 算数 第 12 単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【C 変化と関係】 C(1) 単位量あたりの大きさ

異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解すること。

◆ 評価の 3 観点における目標

【知識・技能】

- 単位量あたりの大きさの意味を理解している
- 人口密度や速さを求められる
- 異種の量の比較に単位量あたりを使える

【思考・判断・表現】

- 単位量あたりで比較する方法を説明できる
- 適切な単位量を選んで比較できる

◆ 指導上の留意点

1. 人口密度

- 人口密度 = 人口 ÷ 面積 (1k m²あたりの人口)
- 例：人口 5000 人、面積 10k m² → $5000 \div 10 = 500$ 人/k m²

2. 混み具合

- 1 人あたりの面積、または 1 m²あたりの人数で比較
- 数が大きいほど「すいている」か「こんでいる」かは指標による

3. 速さ

- 速さ = 道のり ÷ 時間
- 道のり = 速さ × 時間
- 時間 = 道のり ÷ 速さ

4. つまづきやすいポイント

- 割る順番（何を何で割るか）を間違える
- 単位の変換 (km/時 ⇔ m/分) で混乱
- 「大きい＝こんでいる」か「大きい＝すいている」かの混同